

にこる通信

令和2年7月号



令和2年7月10日発行

今年も酷暑になるのでしょうか、皆様におかれましては益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。日頃より「よつば・にこる」をご利用下さり、まことにありがとうございます。

学校が再開され、少し生活が落ち着いてきた頃でしょうか。にこるでも、1日のタイムスケジュール変更後だいぶ慣れてきて、今までよりも余裕をもって、宿題や活動プログラムに取り組めるようになったように見受けられます。ご家庭でのお子さまの様子はいかがですか。また、お聞かせください。



にこるからのお願い

少し早いように感じられるかもしれませんが、今号が夏休み前最後のにこる通信ですので、夏休み期間中について、にこるよりお願いをさせていただきます。

1. 宿題について

にこるご利用当日、その日にお子さまが「にこる」でこなす範囲(教科やページ数など)を連絡帳等でお知らせください。尚、音読や計算カードはご自宅で行ってください。

2. 持ち物について①

現在にこるでは、自由時間に新聞紙やチラシを使って工作することが流行っております。のりやセロハンテープなどの消耗品はご自宅からお持ちください。にこるでは通常それらを用意してありますが、使える量を制限しておりますので、お子さまたちが自由に、気兼ねなく使用できるようにご持参していただけると助かります。

3. 持ち物について②

夏休み期間中は、お子さまの体調や精神状態を考慮した上で、急遽外出することがあります。

帽子やタオル、着替えをお持ちください。また、履き物はサンダル類ではなく靴でお願いいたします。

にこるのコラム ～にこらむ～

先日、将棋の棋聖戦第2局で藤井聡太七段が、定跡(将棋における、いわゆる必勝パターンといえは良いでしょうか)とは、まったくかけ離れた5四金、3一銀という手を打ち、見事勝利を収めていました。単純に「奇をてらった」のかもしれませんが、藤井七段は「大局観」を持ってしてこの手を最善手と判断したのではないのでしょうか。大局観とは、「物事の全体的な状況や成り行きに対する見方・判断」のことです。

将棋を見ながら、「子育てにおいても『定跡』や『大局観』で大事だよなあ。子どもにとって(大人にとってもですが)『今は初めての今、二度と来ない今』なのだから、その時その時で状況は変わる。そして、子ども1人ひとり特徴がある。だからこそ、いろいろな手を打つことができるように定跡は多く知っておいて最善手が打てたらいいなあ。そして『大局観』を持てれば、一見、定跡とは外れている悪手であっても最善手の場合があるんだよなあ」なんてことを考えていました。

自分が仕事や家事に追われているとき、体調が優れないとき、予定があるときは余裕がなくなってしまうので、自分の子の些細な行動に必要以上にとらわれてしまい、「悪手」を打ってしまいがちです。

だからこそ、子どもにとって「第三者の大人」の存在がすごく大きいのではないのでしょうか。

皆様の大切なお子さまをお預かりするかぎり、「よつば・にこる」だけでなく、放課後等デイサービスの職員は、「大局観」から「最善手」を常に研究し実践するプロであってほしいですね。「あれができるようになった」「これがわかるようになった」という目先の目に見える効果だけでなく、5年後、10年後、もっと先のことを考えた「最善手」を打つ努力をしている「第三者の大人」がいるのが放課後等デイサービスなんだ、と認識していただけるようになればいいなと思います。少なくとも「よつば・にこる」はいつまでもそういう放課後等デイサービスでありたいです。

放課後等デイサービス

よつば・にこる

〒422-8042

駿河区石田1丁目19-2

メゾン石田1F

HP <https://kurura.com/>

TEL 054-269-5128

FAX 054-269-5129